

柳營日記記

延宝元 癸 丑 年

七月

朔日

如例月御一門方大名衆出仕雖有之去廿八日夕少々御不例

付御表^江 出御不被遊候乍去 御機嫌克被成御座候得

共七夕近故^ニ為御養生 御目見無之旨老中傳之

少々御頭痛氣^ニ付^也

二日

右忌明^ニ付登 城謁老中

甲府宰相殿

三日

已下刻御黒書院^江 出御參勤之御礼有之

松平大隅守

櫻井庄之助

石尾七兵衛

平野次郎左衛門

岩手藤左衛門

河合甚五兵衛

澤 次郎右衛門

右は 法皇御所御普請^ニ付京都^江御暇被下之

本多肥前守

最上刑部

本多下野守

秋田信濃守

前田宮内

福葉丹後守

吉川少式

久野丹波守

松平八左衛門

一 福島御代官國領半兵衛へ時服三羽折石見奉行永田作大夫へ金

二枚時服二羽折各役所へ御暇^ニ付被下之

一 紀州^江水井佐渡守水戸^江伊澤主水正御使被遣頃日帰参^ニ付

今日 御目見

一 松平筑後守病後御礼として 御目見箱肴献上之

一 套平大隅守家来嶋津帯刀時服三銀馬代を以御礼申上之

一 牛込忠左衛門長崎表へ御暇^ニ付金十枚時服二羽折被下之

一 宗恩事先日宇治より帰参といへ共忌中^ニ有之今日出仕也

一 木屋常与小嶋甚吉御暇銀十枚時服二宛被下之

一 櫻井庄之助三男^等御勘定衆平野次郎左衛門岩手藤左衛門

河合甚五兵衛三人之懇領可被召出之旨但馬守傳之

四日

於評定所式日寄合有之大和守出座

一日光御門跡使僧吉川少式御暇時服二被下之

一 紀伊殿使者久野丹波守御暇時服四羽折被下之水戸殿使者

松平八左衛門御暇被下物同断也

一 御鷹之雲雀被下之

雲雀五十宛 上使青山信濃守 同 同人 同 安藤忠政守

尾張中將殿 水戸少将殿 徳川常陸介殿

同 三十宛 同 御使役 同断 万年佐左衛門

同 松平越後守 松平加賀守 井伊掃部頭

右為御礼各登 城

五日

一 御鷹之雲雀五十甲府宰相殿へ被遣之 上使本多土佐守

一同断如例御使役を以被下之

松平大隅守 松平相模守 松平陸奥守 松平左京大夫 松平大膳大夫

松平讃岐守 森 内記 松平出羽守 藤堂和泉守

為御礼各登 城

一日門より七夕之御祝儀御樽肴被献之

六日

櫻井庄之助三男御勘定衆平野次郎左衛門岩手藤左衛門河

合甚五兵衛懇領右可被 召出候旨去三日被 仰渡之

一 七夕之御祝儀如例年金銀差上之

一 御臺様へ御樽肴献上之面々

尾張中納言殿 紀伊中納言殿 水戸宰相殿 松平越後守 松平越前守

松平加賀守

一 御鷹之雲雀三十充被遣

松平摂津守 松平出雲守 松平但馬守 松平刑部大輔 松平播磨守

伊達遠江守 松平大和守 松平飛騨守 松平兵部大輔 有馬中務大輔

右之通御使役持参之

兩典厩御内室紀伊殿御内室尾張中将殿御内室雲雀三十宛被遣之

七日

已上刻御黒書院^江 出御^{御長持} 御礼有之

奥 七夕御祝儀如例

八日

板倉内膳正

石見守

右家督無相違被下之旨 上意之趣雅楽頭宅^江石見守招之

老中不殘罷越演達之

一 御鷹之雲雀被下之 御使役持参之

三十充 松平信濃守 松平大蔵大輔 松平新太郎 藤堂大学頭

立花好雪

二十充 松平隠岐守 小笠原遠江守

九日

一 浅野采女正雖為参府病氣付 以使者綿百把金馬代献上之

一 織田主計頭京都より帰謁

一 孟蘭盆 付日光山神尾市左衛門被遣 付御暇被下之

一 御鷹之雲雀被下之

奥三十 井伊玄蕃頭 本多中務大輔 戸田左門 真田伊豆守 牧野飛騨守

松平和泉守 岡部内膳正 内藤豊前守 鳥居兵部少輔 諏訪因幡守

小笠原土佐守 松平将監 西尾隠岐守 奥 右上使御使番

十日

於 御前^{三十}雅楽頭^{奥二十}老中不殘松平美作守酒井河内守御鷹

之雲雀拝領

石谷五右衛門

山口庄兵衛

長門守改

岩崎守改

右は京都^二而 諸大夫被 仰付候

十一日

一女院御所七夕之御使鈴木三左衛門^江御返事之御内書渡之且

御暇白銀五枚被下之

一立花左近将監柳川到着御礼以使者一荷二種差上之

一 跡目被 仰付候面々

- 寄合高家
- 圖書兼子
- 山名彦三郎 重周
- 松浦助十郎
- 水野主膳 忠國
- 内藤采女 信有
- 溝口修理 信就
- 小出兵助 某
- 齋藤万九郎 利常
- 高木次郎兵衛 易員
- 中川喜左衛門
- 保々半助
- 嶋 弥太郎
- 朝比奈弥太郎
- 清九郎
- 秋浦惣次郎
- 大嶋小太郎
- 高木甚二郎
- 成瀬藤九郎
- 秋原次郎五郎
- 高木甚左衛門

- 小十人年頭三嶋清左衛門組
- 傳右衛門子
- 朝比奈五郎大夫
- 疋田喜助
- 藤川七郎左衛門
- 坂部助五郎
- 秋原八大夫
- 三輪兵藏
- 渡辺左門
- 黒澤兵之助
- 岩出彦兵衛
- 秋山亀之助
- 藤林長兵衛
- 吉田長達
- 生野六郎右衛門
- 関 半左衛門
- 小野寺彦十郎
- 高槻儀兵衛
- 永峯三郎兵衛
- 津久井七郎左衛門
- 山下十郎左衛門
- 河合弥兵衛
- 風祭善兵衛
- 鈴木半左衛門
- 菅澤百助

兵達迄菊之簡
巴下春藤路之簡

是ノ廊下

右之面々跡式被 仰付候煩幼少名代之面々差合等之者は百人組御番所^二面 被仰渡候

- 伊賀者
- 最上三之助
- 野呂平兵衛
- 六郷甚左衛門
- 加藤虎之助
- 井上勘左衛門
- 後藤七左衛門
- 内藤儀右衛門
- 加藤弥一右衛門
- 秋浦吉左衛門
- 鹿達所左衛門
- 安井甚右衛門
- 中瀬小一右衛門
- 寛 甚五右衛門
- 江坂又右衛門
- 上田小兵衛
- 東 才右衛門
- 福岡半右衛門
- 奈佐市兵衛
- 伊賀者
- 甚右衛門兼子
- 伊賀衆
- 野呂平兵衛
- 明屋敷伊賀
- 才兵衛子
- 錢藏番
- 傳八郎兼子
- 御徒
- 佐野内藏介組
- 牧野傳藏組
- 朝倉仁左衛門組
- 天野甚左衛門組
- 天野作左衛門組
- 柳原大膳組
- 大森半七郎組
- 中西圖書組
- 曾我權之丞組
- 高木善左衛門組
- 宮城監物組
- 安藤一治右衛門組
- 能勢惣十郎組
- 阿部對馬守
- 永井右近大夫
- 小笠原山城守
- 松平伊豆守
- 松平備前守
- 太田摂津守
- 朽木伊豫守
- 土井大炊頭
- 本多長門守
- 松平備前守
- 太田摂津守
- 朽木伊豫守
- 奥二十光
- 戸田伊賀守
- 松平備前守
- 太田摂津守
- 朽木伊豫守

右は今度 法皇御所御普請^二付下奉行被 仰付候旨御歩行之輩^江 被仰渡候櫻井庄之助七兵衛差圖次第可相勤之旨

一御鷹之雲雀於 御座間土井能登守堀田備中守拝領之一同詰衆へ被下之

土井兵庫頭 阿部伊豫守 秋元摂津守

十二日

一 於評定所式日寄合美濃守出座

一 上使御使役を以御鷹之雲雀二十充被下之

松平安藝守

内室

松平新太郎内室

一 立花左近使者御暇時服二被下之

十三日

牧野数馬

平野九左衛門

仰付候

日下部権大夫

右は駿府御番代り之節為御目付可被遣候間被 仰渡候

一 於御座間老中御帷子拝領之

明石箱

京箱

ほた織

雅楽頭

明石箱

美濃守

大和守

但馬守

一 土岐山城雖為參府病氣付而以使者御太刀目錄御鼻紙五箱

献之但昨十二日進上也

十四日

無記事

十五日

一 孟蘭盆付増上寺御佛殿へ為 御名代久世大和守參詣依之如例

年方丈役者へ白銀時服被下之

増上寺方丈 了我 良也

一 東叡山御堂へ御名代稲葉美濃守

時服三充 凌雲院 檀那院 同ニツツ親理院兼松院東漸院常徳院

右之通被下之但日門は在京也

一 増上寺方丈登 城謁老中

十六日

無記事

十七日

楓山御名代土屋但馬守

十八日

已下刻御黒書院 出御

今朝上使久世大和守

時ふく五拾

御馬老定

御暇

修理大夫事薩摩守と改度之旨願ニ付可任其意旨 出御前

老中傳之

銀馬代

時ふく三

同

同

伊豫守惣領

初番

朽木左近

刑部少輔惣領

毛利喜太郎

大御番

竹嶋宇右衛門

門奈市十郎

小林平助

鈴木九右衛門

勝 次郎右衛門

浅井平兵衛

右は従大坂金銀為幸領罷下候ニ付 御目見 且拝領物時服二充

一 内藤豊前守御暇ニ付時服十羽折被下之

一 板倉隠岐守參府ニ付綿百把金馬代を以御礼申上之

一 溝口修理松平助十郎各太刀目錄金三枚を捧雜目之御礼申上之

一 阿部豊後守 以三枝對馬守御帷子三并團扇二本被下之

一 御贖物備前近景代金七枚松本丹後守遺物として差上之

一 陸平陸奥守より初銚差上之

一 松平丹後守遺物近景之刀代金七枚献之

十九日

松平陸奥守 昨夜七時分初銚忒尺献上之今朝又候ニ番銚

忒尺献上之

一 禁裡へ初銚御進献之且永井伊賀守へ御帷子御單物被下之

一 毛利甲斐守在所到着ニ付以使者御樽肴献之

廿日

紅葉山御佛參 御先 井伊掃部頭老中不残相越御

御長袴 奥御先立 雅楽頭美濃守大和守但馬守

供土并能登守堀田備中守松平因幡守石川美作守等也

御刀 本多土佐守

廿一日

一 尾黄門水少将豫參

一 智楽院拜迎

一 還御後御両典御參詣

一 神尾市左衛門日光山より帰謁

一 酒井老岐守内藤上野介閉門御免之旨於御膳立之間老中列

座傳之

廿一日

一 松平土佐守帰国御礼以使者緇子十卷御樽肴差上之

一 毛利甲斐守使者御暇時服二被下之

但甲斐守在所到着付差越処之使者以来も於御城時服

可被下旨一昨十九日議定云々

廿二日

於評定所式日寄合大和守出座

一 松平土佐守使者御暇時服三被下之

一 水戸殿より重銚被献之

一 水戸殿より重銚被献之

一 法皇 本院へ初銚御進献之

一 御鷹之雲雀二十をんかうゐん殿被遣之

廿三日

小十八年頭

朝比奈傳右衛門跡

山田八郎右衛門

右之通被 仰付候

禁中方

法皇様御普請ニ付下奉行御徒拾四人銀五枚御暇ニ付被

下之

一 上方御代官中村左右衛門御暇時服ニ羽折被下之

一 石川美作守於本庄下屋敷被下之

廿四日

辰下刻紅葉山御參詣

御長袴

御刀 本多土佐守

御香 能勢摂津守

一掃部頭雅兼頭美濃守大和守但馬守豫參

一御先立 掃部頭

一尾黃門水少將殿陪拜

一増上寺拜迎

一土井能登守堀田備中守松平因幡守石川美作守供奉

一還御後御兩典御參詣

廿五日

殿中無別条

廿六日

一新院御所 女院御所へ初蛙御進献之

一御鷹之雲雀三十松平岩松へ被下之御使役持參

廿七日

一楓山御宮火之番秋元撰津守病氣_二付代として板倉隠岐守被

仰付之

廿八日

御礼如例

一小堀源兵衛御暇付時服二羽折被下之

一算知算哲智哲 銀鹿狩野七郎右衛門 鉄炮強 国友徳左衛門 伯耆米子

一町人 村川市兵衛宮崎太郎左衛門同清大夫いづれも進物前に置

御目見

辰下刻御黒書院_江 出御如例御一門方 御對顔御白書院_江

出御諸大名 御目見

(銀馬代 陸奥三懸) 松平志摩守 太刀目録 同 織部

右參勤之御礼

東巻 尾州 建中寺

同 繼目御礼 同 相應寺

東本 江戸牛込 松源寺

東巻 池上 本門寺

御博者 森内記息女 一条殿使者

箱者 録組之 御礼 入江三河守

御博者 堀洛之御礼 西本願寺使者 湯浅又右衛門

一松平伊豫守使者土倉淡路を以曝布廿疋御博者を捧佐竹

右京大夫使者茂木儀右衛門を以蠟燭千挺白鳥二を捧各因元

到着之御礼申上之

一大坂より御金宰領足立善一郎窪田与右衛門 御目見時服二充

被下但与右衛門へ病氣_二付不及登 城

廿九日

一一条殿使者入江三河守一条右大臣殿内室使者湯浅又右衛門

西本願寺使者横田監物御暇時服二充被下之

一松平伊豫守佐竹右京大夫両使御暇時ふく三ツッ被下之

晦日

大御番頭_ノ番合

一中根日向守事願之通隠居想領大隅守へ家督被下之

御勤定頭 松浦猪右衛門 倉橋内匠

右三人願之通病免

柳營日次記

延宝元_{癸丑}年

八月

朔日

辰后刻御黒書院_江 出御上段御着座左馬頭殿右馬頭殿御

礼 御刀 稲垣市正

一松平陸奥守より初菱喰献之

二日

一甲府殿御簾中今晚御逝去達 御耳之処急度為 上使大

和守相見廻御笑止_二思召之趣謁家老中演達之

一尾州建中寺へ時服三相應寺へ同一御暇_二付被下之

三日

御暇時ふく式 閑 庄左衛門

一御誕生日_二付如例殿中在合之面々へ御祝之餅酒被下之

一禁裡へ初菱喰御進献之

一今度 禁裏院中炎上之節類火之公家衆へ金銀被下之

一金式千兩 鷹司殿 一金式千兩 九条殿

一〇三百兩 政所御方 一金三百兩 菊亭大納言

一銀五百枚 日野大納言 一金百五十兩 風早三位

一金式百兩 小川坊城大納言 一金三百兩 西園寺中将

一同断 東園大納言 一〇百三十兩 長谷兵部少輔

一同断 勤修寺中納言 一同断 五辻左馬頭

一同断 芝山中納言 一同断 裏松弁

一金百五十兩 鳥丸宰相 一金三十兩 勢田大判事

一同断 廣橋三位 一同断 羽倉伯耆守

一銀三十枚ツ 日野弁 東園中将 芝山三位

四日

一於評定所式日寄合但馬守出座

中山源兵衛

右は父権左衛門大坂_二而病氣以之外_二付御暇被下之

森美作守津山到着_二付為御礼使者を以巻物五二種一荷献之

五日

酒井伊豫守組
長田平一右衛門
松平陸奥守
佐脇傳右衛門

右 上総下総論所見分^二被遣候旨被仰渡

細川越中守 帰国為御札使者を以鈍子三十卷御樽肴献之

六日

松平陸奥守^ノ初鶴献之

七日

已下刻御黒書院^江 出御

(銀馬代 染皮廿枚 大坂在番 掃り)

右 御目見後初^面 御目見之面々

三枝撰津守
土屋兵部少輔
三枝弥左衛門守常
櫻井庄八郎
平野次郎太郎
岩手藤十郎
川合一之允

右は 御目見相済

大御番組頭八人
兩組中百人
伊達遠江守
真田伊豆守
板倉隠岐守
堀田豊前守
板倉石見守
松平遠江守
新庄隠岐守
堀 市正
溝口伊豫守

阿部播磨守 酒井日向守 松平山城守
増山兵部少輔 三浦志摩守 那須遠江守
土井信濃守 土井周防守 伊丹大隅守
土井兵庫頭

御暇時^ノ五羽折

銀馬代

三枝撰津守
土屋兵部少輔
同兩組頭八人

銀馬代

池田新兵衛

杉原十郎右衛門

中根大隅守

中根日向守

内藤采女

水野主膳

小笠原民部

板倉石見守

板倉内膳正遺物

御暇時^ノ三羽折

御簀^ノ銀廿枚

御簀^ノ伏見殿原筆

十二日

上総中富村貞元村川見為見分曾根与五左衛門間口作左衛門
可被差遣旨

於評定所式日寄合有之大和守出座

時^ノ三

羽折

御暇

遠山主殿頭

戸田孫十郎

青木求馬

堀田對馬守

松平与右衛門

組中^江

御書院番頭

右 御目見御暇被下之

駿府在番^ニ罷越候御書院番之子共初^面

御目見八人

渡辺久太郎

中山主税

井上内蔵允

新庄造酒之助

中野弥太郎

土岐喜八郎

能勢外記

酒井吉左衛門

孫兵衛子

朝比奈孫二郎

村上庄八郎

加茂官与兵衛

田村源十郎

石川勘次郎

原田左兵衛

大岡佐傳次

廣戸半右衛門

小林十三郎

丸毛三大夫

柳原源之允

神谷源五郎

源左衛門子

初^面 御目見新御番之子共

遠山半左衛門組

孫兵衛子

朝比奈孫二郎

村上庄八郎

加茂官与兵衛

田村源十郎

石川勘次郎

原田左兵衛

大岡佐傳次

廣戸半右衛門

小林十三郎

丸毛三大夫

柳原源之允

神谷源五郎

源左衛門子

万年作左衛門組 三左衛門子

井出三十郎

右之通山吹之間 二面一同 御目見

參勤(金馬代)

金馬代

時ふく五

御暇時ふく四羽折

五羽折

大坂へ御暇金五枚時ふく式羽折

半年代御暇

阿部伊豫守

森川出羽守

金五枚

金式枚時ふく式羽折

銀馬代

青山大膳亮

井上相模守

本多彈正少弼

朽木伊豫守

石丸石見守

安藤對馬守

松平備前守

堀飛騨守

牧野數馬

平野九左衛門

日下部權大夫

高木二郎兵衛

十三日 駿府へ飛脚去六日甚風雨 御城内所々破損之由注進之

十四日

一 三枝撰津守土屋兵部少輔兩組之大御番御改有之

本院へ初鶴 新院 女院へ初菱喰御進覽之

紅葉山御宮火之番増山兵部少輔被 仰付土屋民部少輔代也

同所 御佛殿火之番三浦志摩守被 仰付森川出羽守代也

御暇時ふく式羽折

神原越中守

十五日 御札如例

御暇時ふく三羽折

東本

土岐左京亮

十六日 無事

十七日

紅葉山 御宮 御名代稲葉美濃守

去九日甚風雨 付當地兩町奉行役宅大破 付為修復料銀式

十メ目 被下之

十八日

新院 女院へ初鶴御進獻之

十九日 無事

同日 無事

廿四日

増上寺 御名代但馬守

廿五日 無事

廿六日

同日 無事

大類治兵衛

永田藤兵衛

大村与右衛門

沖 庄大夫

町田平吉

宮村孫左衛門

鈴木与四右衛門

上野平右衛門

山田庄兵衛

山本惣左衛門

関 孫左衛門

河合弥兵衛

御目付

御目

五羽折 新庄隠岐守

銀馬代 初面 信濃守子 京極内記

箱肴 役所參上 山角藤兵衛

御刀 行光 稲葉能登守遺物

代金廿五枚

去廿三日姫宮降誕^ニ付為 上使吉良上野介可被造旨

京都火事^ニ付類火之輩金銀被下之

法皇御所非藏人 赤塚芸庵

金三十兩 新院御所北面 室津左衛門

同 斷 案人 多上野

金貳十兩 多内匠

安倍左兵衛

東儀右衛門

多將監

禁裏役人 町口石見

禁裏院中 諸司諸役人

銀十式ノ目

廿九日 無事

柳宮日記記

延寶元^癸年 九月

朔日

已刻御黒書院^江 出御如何例御一門方 御對顔過^而御白

書院^江 出御諸大名 御目見

東本 東海寺輪番 洋山和尚

御殿 銀百枚時ふく五 一濱和尚

參上 三東二卷 高野山 無量寿院

銀馬代 參上 水野伊豫守

染革廿枚 仰付之

毛利刑部少輔子喜太郎向後詰衆子共並被 秋元撰津守

御殿 被下物無之

二日 無事

三日

御殿銀十枚^ツ 鉄地張 国友徳左衛門

山里^ニ御馬^ニ上覽御膳被 召上申刻被遊 還御候

式日出座美濃守

五日

諸家々重陽之時ふく献上之

六日 無事

朔日^ニ出 刑部少輔子 毛利喜太郎

右は御詰衆子共列^ニ向後相詰候様^ニ被 仰付候是は朔

日之事也

七日

今度 女御姫宮御誕生^ニ付吉良上野介御仰被下

金十枚時ふく三羽折

禁裏^ハ 御大刀一腰 御馬代銀三百枚

新院^ハ 時ふく十 二種一荷

本院^ハ ちりめん廿卷 二種一荷

姫宮^ハ 御産衣十重 三種二荷

女院^ハ 金十枚 ちりめん三十卷

女御^ハ 銀二百枚 三種二荷

法皇^ハ 御大刀一腰 御馬代銀百枚

御馬代銀五十枚 二種一荷

御書院番 鷹司殿^ハ

町野老崎守組 政所^ハ

五兵衛子 伊奈平十郎

右は父五兵衛駿府在番^ニ病氣^ニ付暇被下且又御医師

鳴村一庵葉願^ニ付以奉書被 仰遣之

来^ル十七日 日光 御名代 上秋伊勢守

御祭礼奉行 太田撰津守

九日

已刻御黒書院^江 出御 両宰相殿 御對顔過^而御白書院

出御尾張殿同中将殿水戸殿 御對顔此外御礼如例

御刀 酒井老岐守

十日

元方 御金奉行^江 大御番 戸田相模守組

右之通被 仰付候 小尾十郎左衛門

同 松平健藏頭組 小林左次兵衛

十一日

輪葉美濃守^三男 毛利備後守

右は年来依病氣御合米千俵差上小田原罷越緩々保養仕
度旨父美濃守願^ニ付右之通被 仰付候

高三万五千式百石之内
三万三千式百石
内式千石
高式万石
内藤飛驒守
同 和泉守
同 帛之助
堀 美作守
同 周防守
右之通跡目被 仰付候旨被仰渡候
京師へ 御暇時ふく式羽折 外科 伯安

十二日 於評定所式日寄合但馬守出座

日光 御名代 上秋伊勢守
右被 仰付御暇被下 日光へ 太田摂津守

十三日 巳刻御黒書院^江 出御
鷹一居 御暇
金馬代 參勤
御暇被下物無之
御暇時ふく十
御暇時ふく四羽折
御暇時ふく三羽折
式羽折

松平新太郎
松平中務大輔
板倉石見守
池田信濃守
酒井鞆負佐
龜井伊豫守
松平對馬守
西尾主水
中根平十郎
野間三竹
女院御使
小林与右衛門

十四日 無事
十五日 巳刻御黒書院^江 出御如例御一門方 御對顔過^面御白書
院^江 出御諸大名 御目見

御暇時ふく十
銀馬代
松平兵部大輔
鷹司殿使者
閔 丹後
九條殿使者
村林右兵衛
於領国^江留
鶴被殿之
東卷
東卷
東卷
箱卷
東卷
御暇時ふく三
式
龍生院

十六日

右は奥州御馬買被遣候^ニ付御暇被下候旨被 仰渡之
御暇時ふく三
式
金三枚 ツツ
時ふく二
加藤權左衛門
諏訪部丈九郎

紀實門使者
下村忠右衛門
鷹司殿使者
閔 丹後守
九条殿使者
村林右兵衛佐
春木大夫
山本大夫 使者
辰后刻紅葉山 御社參 御先^江井伊掃部頭老中不殘
御供土并能登守堀田備中守石川美作守等也
御先立 掃部頭 御刀 酒井老岐守 御沓 米津周防守
尾黃門 水少將 陪拜 知樂院拜迎
豫參 雅楽頭 美濃守 大和守 但馬守
富山二ノ宿 積迎院
御暇時ふく式ツツ

十八日 巳下刻御黒書院^江 出御 御刀 稲垣市正
院^江 松平岩松

真御太刀光守
金三拾枚
時ふく二十
松平安藝守
綱長

右之通差上之
金馬代
わた百把
松平紀伊守
右は安藝守元服^并御名之一字被下候御札差上之
御黒書院
御使番
渡辺吉左衛門
小姓組
本院御所附
松下豊前守跡
五百石御加増都合千石

右は御番代り之節持參候 御朱印老中渡之
時ふく四
羽折
遠山主殿頭
名代戸田孫十郎

右は駿府加番御暇^ニ付被下之
金三枚
時ふく三
羽折
寛 新兵衛

御免為御褒美被下之
金十枚
時ふく六
金貳枚
金十枚
時ふく五
金壹枚
御暇時服三羽折
壺口切御茶 ツツ
御香一種
銀馬代ツツ
初番
右京亮子
大久保刑部
二男
織部
下總守子
酒井主殿
四郎左衛門子
榊原弥大夫
織部養子
宮崎頼母
河内守三男
井上左門
則重御刀 代金廿五枚
御懸物 俊朝筆
古今集 定朝筆
束田行御刀 代金 十五枚
内藤飛驒守遺物
同 人
堀 美作守遺物

十九日 山崎四郎左衛門

右は大坂帰登 城謁老中
青山善兵衛

右之通被 仰付候
中坊長兵衛

廿一日
巳后刻紅葉山 御佛殿^江 御參詣御先雅楽頭美濃守大和守
但馬守御供土并能登守堀田備中守板倉筑後守松平因幡守
岡部左近等也

御先立 掃部頭 御刀 内藤上野介 御香 三枝對馬守
尾黃門水少將 陪拜 知楽院拜迎
豫參 雅楽頭美濃守但馬守
上秋伊勢守太田撰津守日光扇 御目見

廿一日
元欠所奉行子
松平孫兵衛
元御徒目付子板倉市正組
笠原仁右衛門
元御徒組頭子同組
秋山久助
元廣敷派番子
石上弥右衛門
大久保右京亮組

右は御本丸火之番被 仰付候
大森小右衛門
三人西丸御留守与力被 仰付
元紅葉山御番子
高木左助
右京亮組
中丸御留守御番子
高橋九左衛門
市正組

於評定所式日寄合美濃守出座
廿二日
元御頭
水野民部^江御預
岩手佐五右衛門
金森万助^江
同人懇願
岩手六左衛門
右十ヶ年以前御役被遊御免然共数年之御勘定不仕上大分
之引負有之段達 上聞重登不届被 思召御穿鑿之間被
召預之
松平阿波守參府^二付 上使但馬守
松平安藝守事廣嶋へ今度初^三御暇^二付 上使美濃守

廿三日
元御頭
水野民部^江御預
岩手佐五右衛門
金森万助^江
同人懇願
岩手六左衛門
右十ヶ年以前御役被遊御免然共数年之御勘定不仕上大分
之引負有之段達 上聞重登不届被 思召御穿鑿之間被
召預之
松平阿波守參府^二付 上使但馬守
松平安藝守事廣嶋へ今度初^三御暇^二付 上使美濃守

銀五百枚時ふく五十被下之

廿四日
巳刻紅葉山 御佛殿^{御長袴} 御先^江掃部頭老中不殘御供士
并能登守堀田備中守板倉筑後守松平因幡守等也

御先立 掃部頭 御刀 土岐伊豫守 御香 神尾播磨守
尾黃門水少將陪拜 方丈奉迎
豫參 雅楽頭美濃守大和守但馬守

廿五日
巳下刻御黒書院^江 出御參勤之御札
松平阿波守
松平安藝守

右は御暇^二付被下之
去戌年琉球之廻船阿蘭陀之内トノユイ人奪取之其後長崎
入津之節為過料銀三百貫目 公儀^江被 召上其銀子琉球
国王^江被下^二付為御札薩摩国迄從中山王献上之品々

一 一太平布 百疋 一芭蕉布 五十反
一 一細布 十疋 一縮布 十反
一 一硯屏 玉 一煎海胤 一箱
一 一泡盛酒 三壺
右之通松平大隅守^二以使者差上之謁老中
琉球国貢税之小船於大清之地海塘山為賊船被破却依之
彼賊船東寧之輩為過料銀子三百貫目被 召上之賜中山王
仍為御札薩州迄以使者品々献上之

銀馬代 參勤
幕紙二箱
時ふく式
御鷹一居
御馬一定
時ふく十羽折
四羽折
大坂幕
山崎四郎左衛門
青山善兵衛
大坂御儀奉行
本間十右衛門
澁谷檢校

火繩十筋
御暇金式時ふく式

廿六日
午后刻西丸^江 渡御御供土并能登守板倉筑後守松平民部少輔
石川美作守其外御近習之面々等也
京都^二次飛脚廿一日依吉辰年号改元定之陣儀被行之為
延宝元年之旨傳奏衆被相達之由永井伊賀守注進之
東叡山へ當月御祈禱料銀百枚被遣之
京大坂へ次飛脚今度火事之節毘沙門堂御門主里之坊類火
二付銀式百枚被下之旨

廿七日
八頭鳥從伊達遠江守獻之

廿八日
巳下刻御黒書院^江 出御如例御一門方 御對顔過^二御白
書院^江 出御如例諸大名 御目見
去^レ廿一日年号改元有之延寶と改元之由出仕之面々^江老
中被傳之

箱香 病後 土岐山城守
東巻 清水寺 成就院
御暇時ふく一 八幡 豐藏坊使僧

廿九日
高三万五千石
牧野佐渡守
養子 因幡守

右は願之通隱居被 仰付候旨家督無相違因幡守^江被下之
晦日
鳳来寺被損修復太田撰津守被 仰付^二付家来下奉行へ被下物
伊丹仁兵衛
加々爪与右衛門
甲賀孫助

時ふく式
羽折

柳營日記

延宝元 癸 五年

十月

朔日

巳刻御黒書院 出御一門方 御對顔夫御白書院

出御如例月諸大名 御目見

銀馬代 桑山丹後守

雨鞍覆三懸 御殿 高林又兵衛

時ふく一 成就院

時ふく一 長床坊

使僧

二日 無事

欠

右は向後御詰衆被 仰付候旨昨日老中申渡之 内藤和泉守

三日

亥猪 付西后刻御白書院 出御御祝儀有之

御刀 堀山城守

四日

評定所 式日寄合有之大和守出座

五日

禁裏へ御鷹之鶴御進献宿次

常州筑波山堂の破損 付御修理被 仰出為見分御被官

大工鈴木与三右エ門被遣候付銀五枚被下之

御臺様 江 御伽羅 一木被遣之

六日

昨日也 銀五枚 鈴木三右衛門

右は常州筑波山之 御宮殿破損出来 付為見分被 遣

高木忠右衛門

右は仙臺御目付帰 付登 城謁老中

松平加賀守の壺口切之御茶 菱喰二献之

七日 無事

八日

尾黄門の壺口切之御茶 御樽一荷鯛一折柿一箱被献之

使者成瀬隼人正

九日 青山丹後守新庄長門守兩組御番士

午后刻西丸 渡御

重陽之 御内書諸家へ被下之

十日

於御座間吉良上野介京都掃 御目見

十一日 無事

十二日

於評定所式日寄合美濃守 出座

法皇 本院 御進覽

十三日

金十枚 家督御札 牧野因幡守

時ふく六 時ふく六 牧野因幡守

金馬代 時ふく六 牧野因幡守

時ふく四 時ふく四 牧野因幡守

十四日

中野傳右衛門

水室殿使者 御暇時ふく三 高岡金左衛門

十五日

巳后刻御黒書院 出御如例御一門方 御對顔過 御白書院 出御諸大名 御目見

右は御詰衆被 仰付之 欠 牧野因幡守

欠 永井對馬守

欠 前田帶刀

欠 能勢日向守

欠 了榮

欠 八兵衛

欠 了榮

十六日 駿府在掃御書院番中 招殿中在番中御改有之

十七日

建長寺 惠真西堂 碩峴西堂 玄康西堂 慈英西堂 道充西堂

東叡寺 東觀西堂 祖辰西堂 土賢西堂 集伏西堂 同首座

元教西堂 宗般西堂 同首座 明勤西堂 同首座 同首座

光雲寺 同首座 同首座 同首座 同首座 同首座

右、御直判其外、御朱印

右之通被下之且又金地院事隠居被 仰付侃長老^{正可}

相談由被 仰出候

御暇金老杖時ふく三

三州藩別當
青龍院

十八日

本多中務大輔

刑部大輔^男
松平小二郎

右は養子被 仰付候旨中務太輔儀病氣^ニ付百人組之御番

所^ニ而 老中申渡之

内藤豊前守

同伊勢守惣領
内藤市之助

右之通養子被 仰付候

十九日 無事

廿日

上野 御名代但馬守

廿一日

菊之間

善十郎子

戸田備後守組

安兵衛子

書院番
安藤老岐守組

傳八郎取来三百俵
隠居料被下之

主水子

筑紫左太夫^二

三郎兵衛弟養子

小堀七兵衛

権之助子

内藤平左衛門^六

大助子

遠藤織部^三

傳右衛門子^{直昌}
建部十郎右衛門^{昌孝}^五

高八百二十三石
内六百石

瀧川長門守組
内藤上野介組

戸田備後守組

式百一拾三石分知

同次男^奥 御右筆

同 市左衛門^{昌勝}

平十郎子

朝倉孫右衛門^八

平右衛門子

加藤平八郎^七

長左衛門弟養子

中嶋三郎兵衛^八

忠左衛門子

小栗新右衛門^九

六右衛門養子

布施善六^十

清兵衛子

澤 佐助^{十一}

玄竹嫡孫

那須春竹

右は御右筆部屋縁類^ニ而 願之通隠居被 仰付家督無相違被下之

躑躅之間

勘兵衛子

坂辺八左衛門^一

九左衛門子

恩田八左衛門^五

七兵衛子

森 九兵衛^六

彦左衛門子

安藤勘兵衛^四

半兵衛子

花井半左衛門^三

次郎右衛門子

荒井勘兵衛

長右衛門子

後藤十郎兵衛^二

右同断之旨

鳥居三郎右衛門組十人伊藤長兵衛去^ル十七日妻^ヲ切殺

其身も自害いたし候由

廿二日

式日出座大和守

廿三日 無事

廿四日

増上寺 御名代大和守

駿府貞服町少々火事有之

廿五日

一 昨廿四日夜御小姓組伊澤主水正組之大岡惣兵衛事九半時頃御番所^ニ而 乱心仕相番中根喜藏佐野七之助不寝之御番被居候処^江 寝所よりマルコシ^ニ而 出意趣有之由^ニ而 喜藏脇差^ヲ取付引祓申候処^ヲ兩人^ニ而 押留其内相番中出合組留之其復弁當部屋^江 押込置候得は暫過候^而舌^ヲ喰半死之由則夜中兄大岡弥右衛門方へ遣し申候由大形可相果之由

廿六日

一 荷二種掃因御礼 松平新太郎使者

辰下刻隅田川筋^江 為御鷹野被為成候角田川^ニ而 御膳被召上 還御御船^ニ而 辰ノ口迄被為 入西后刻 還御

廿七日

一 千代姫君様御養女貞姫御方有馬中務太輔^江 縁組被

御物員 御奉^ニ而 白馬一 白鳥式 脇鷹

菱喰一 真馬 白鳥十一 鴻 真鴨 青鷺三

白鷺八 小鴨六 雑鴨五

御物数四十六内

御奉三

奥 白鳥居捉候御鷹居候もの 於御前金十兩被下之

能勢市十郎神尾市左エ門毎度御供仕奇特^ニ被思召候旨

上意有之

廿七日

千代姫君様御養女貞姫御方有馬中務太輔^江 縁組被

御物員 御奉^ニ而 白馬一 白鳥式 脇鷹

菱喰一 真馬 白鳥十一 鴻 真鴨 青鷺三

白鷺八 小鴨六 雑鴨五

御物数四十六内

奥 白鳥居捉候御鷹居候もの 於御前金十兩被下之

能勢市十郎神尾市左エ門毎度御供仕奇特^ニ被思召候旨

上意有之

仰付候是廣幡大納言息女也

小出信濃守

同 大學

右願之通隱居被 仰付家督無相違大學^江被下之

昨日御奉之白鳥 禁裏へ御進獻之

御奉之雁 女院へ御進覽

當冬初^番御狩^ニ付諸大名使者獻之

御狩之雁以 上使被遣之 尾張殿 兩典 本理院御方

千代姫御方 掃部頭

廿八日

巳刻御黒書院^江 出御御一門方 御對顔夫々御白書院

出御如例諸大名御目見

尾中將水少將鷹場へ御暇 京都へ御暇 神尾弥右衛門

御暇^{銀五十枚} 黒田宮内

箱肴 湯治婦 戸田伊賀守

參勤 時ふく三羽折 伊奈半十郎

清水權之助

松平筑前守 時ふく式羽折 加藤伊織

廿九日

水宰相使者

松平刑部大輔二男小次郎 市川三左衛門

本多中務大輔彌子被 銀廿枚

仰出御札 十枚ツツ

大井田図書 大平角助

長崎へ参上 佐山角左工門

熊泥障三懸 岡野孫九郎 比留清左工門

箱肴 今村傳三郎 荒井十兵衛

銀五枚 宮城監物祖御徒 中山惣左工門

右へ御奉之鷹捉へ白鳥取上之付^二被下之

松平加賀守鷹場^江御暇

廿九日

水宰相使者

市川三左工門

御暇時ふく三ツ 大井田圖書

柳宮日記記

延宝元^{癸丑}年 十一月

朔日

巳下刻御黒書院^江 出御御札有之

右は盜賊改被 仰付之寛新兵衛代也

久永源兵衛

二日

土岐伊豫守家來中小姓稲田新平と云者去^ル十七日八時分

御小姓組御番所近所迄罷通候^ヲ御目付大岡五郎右衛門見

出候伊豫守^江被断之其身申分惣菜所へ相越湯^ヲ可被下候

と存參候由其後伊豫守遂穿鑿候^ニ新平儀右之様子

隱^シ伊豫守 不申知候段不届^ニ付先月廿六日成敗被申付

候^并新平傍輩中小姓水谷平次右衛門事御部屋相詰罷在右

之分乍存隱之伊豫守へ不為知候^ニ付同廿七日切腹被

仰 付候

尾中將鷹場前沢到着^ニ付為御札被差越使者水野六兵衛

御暇被下

三日

尾中將鷹場へ使者小寺藤藏雁式被献之

水少將鷹場へ使者武藤源五右衛門雁式被献之

四日

評定所^ニ式日寄合但馬守出座

先月廿八日出 銀五枚 宮城監物祖 中山惣左衛門

右は去^ル廿八日角田川辺 御成之刻御奉之御鷹^ニ捉之

白鳥川^江取上候^ニ付為御褒美被下之

尾張中將殿水戸小將鷹場へ 上使雁捉之御鷹一居^{ツツ}

被遣之 (日記記は水戸少將)

中將殿へ松平豊前守

少將殿へ柴田和泉守

五日

辰ノ口へ御船^ニ隅田川筋千住^江為 成茂上刻 還御

御物数三十九内 御奉三 白鳥一

奥 白鳥取之御鷹居候者へ於御前金十兩被下之

六日

昨日御奉之白鳥 法皇へ御進獻 新院 女院へ鶴御進覽之

御暇 中將殿使者 後藤弥次右工門

少將殿使者 肥田十藏

右へ拝領之御鷹捉候雁老^{ツツ}被献之

松平加賀守鷹場へ使者を以雁一鴨式献上之

常陸介殿へ上使青山丹後守御狩之雁貳被遣之

館林殿紀伊殿兩御内室へ御鷹雁二宛被下之

藤堂主馬組 宇佐浅右衛門

大澤与一右衛門

谷 甚五右衛門

昨日於御鷹場 御奉之白鳥助取候御徒之輩三人

御前へ持參之節不法之鉢也藤堂主馬差在

其傍右之仕合重疊不届被思召主馬閉門被

仰付御徒三人へ可放御扶持言被 仰出

右去^ル五日 御成之節御奉之白鳥 御前近^ニ押

之聲高^ニ申之不届^ニ被 思召候依之御扶持被 召放

之候旨頭中^江被仰渡之

御徒頭 藤堂主馬

御目見遠慮 大岡弥右衛門

宮城監物 天野佐左衛門

右四人 御前近^ニ 御徒三人聲高^ニ申候節其場^ニ罷在差

図不申不調法^ニ被思召右之通被仰渡之

安藤内藏之介氣色不宣^ニ付同姓九郎左衛門末子作十郎

養子^ニ被 仰付候

七日

兩典へ^{上使} 酒井老岐守御鷹之鶴被遣之

八日

甲府殿昨日鶴被遣候爲御礼登 城

尾黃門へ 上使石川美作守御鷹之鶴被遣之

能勢日向守^正於御座之間京都之御用被 仰付

九日

本理院殿 千代姫君へ鶴遣之

明日十日御能被 仰付候間登 城見物可有旨伊勢殿へ上^{甲府}

使被遣之

松平丹後守へ参勤^二付 上使美濃守

十日

一 今日御慰之御能被 仰付候^二付已上刻大廣間^江 出御左

馬頭殿御對顔次^二御次伺公之面々 御目見

右馬頭殿風氣^二付登 城無之

御能組

寢覚 觀世

敦盛 七太夫

江口 宝生

土蜘蛛 庄左衛門

三井寺 宝生

張良 七太夫

間 佐左衛門

現在鶴 平右衛門

猪早太 新之允

二人袴 弥太郎 樂あみ 弥右衛門

米市 傳右衛門 あさいな 弥右衛門

祢き山伏 八右衛門 花折しんぼち 弥太郎

今日九郎兵衛新九郎へ紫之調緒被成御免旨被 仰出
一筋^二頂戴之

十一日

昨日現在鶴は切計被 仰付右昨晚及暮^二付右之通也九郎

兵衛新九郎紫之調 御免拝領之調江口^二掛之候由

紀伊殿水戸殿 以宿次御鷹之鶴被遣之

金春座御暇^二付如何年黄金時ふく等被下之

松平越後守 上使を以御鷹之鶴被遣之

井伊掃部頭以内藤上野介御鷹之鶴被遣之

十二日

於評定所式日寄合大和守出座

御刀 三枝對馬守

参勤 銀三百枚

色糸百斤 松平丹後守

美子被仰付御礼 金式枚

金馬代 本多平八郎 同断

總百把 本多中務大輔 箱者

美子被仰付御礼 常陸介殿へ御鷹之雁式上使柴田和泉守

銀馬代 内藤市之助 上使御使役

時ふく六 小出大學 御鷹之鶴^二松平大隅守 松平相模守

金十枚 小出信濃守 松平陸奥守 松平大膳大夫

金馬代 小出信濃守

箱者 六郷伊賀守 御鷹指代金十五枚

参上 渡邊越中守 小出信濃守献上

少将殿鷹場 水宰相使者

御暇御礼 望月庄左門 御鷹様へ銀廿枚

少将殿鷹場 同入使者 松平丹後守

上使御礼 荒井惣左二門 十枚 小出大學

十三日

御鷹之鶴被下之 森内記藤堂和泉守松平出羽守松平阿

波守

十四日

松平越前守へ御鷹之鶴宿次を以被遣之

御鷹之鶴被下松平丹後守藤堂大學頭

尾黃門登 城謁老是先日御鷹之鶴拝領之御礼病氣^二

付及今日

十五日

巳后刻御黒書院^江 出御如何御一門方 御對顔

馬式^二鷹場掃り

尾張中將殿 水戸少将殿

右過^而御白書院^江 出御如何例諸大名御目見

館林掃 曾我伊与守

尾中特水少将鷹場掃 御對顔雁式^二被献之

参勤^二總百把 酒井左衛門尉 同入 本多隠岐守

金馬代 時ふく三

三東二巻 後住御礼 金地院^{役所} 御鷹^二金式枚時ふく式羽折 水野甚右工門

二東一巻^二 鹿苑寺 右甚右工門二男可召出旨

東巻 参上 尊重院 御鷹之鶴 松平新太郎 松平紀伊守へ被下

御礼 若王子 使僧 陸奥上 連磨 五長老

於御前黃鷹二双 甲府殿へ被下 御鷹 銀五十枚時ふく十人

館林殿へ病^二付上使石川美作守を以被下之若黃鷹二双 被遣之

十六日 無事

十七日

紅葉山 御名代但馬守 甚五左衛門三男 水野藤十郎

十五日也 右可被 召出候旨被 仰付候

金地院事五山十利諸山之僧録被 仰付候

十八日

尾張殿紀伊殿水戸殿如何年葉種被遣之

御鷹之鶴雅菜頭へ被下

於御座間黃鷹一居井伊掃部頭拝領之

十九日

尾中特水少将へ以 上使御鷹之鶴被遣之

御鷹之雁式^二松平左京大夫 松平摂津守 松平出雲守 伊達遠江守

上使御使役 松平刑部大輔 松平播磨守 松平但馬守 松平大和守

松平讃岐守

廿日

東叡山 御名代大和守

廿一日

御鷹之雁式ツ 松平中務大輔 有馬中務太輔 松平飛騨守 松平大藏大輔
松平筑前守 松平隠岐守 酒井左衛門尉 小笠原遠江守
立花紅雪

廿二日

於評定所式日寄合但馬守出座
御鷹之雁式 井伊玄蕃頭
同一ツ 本多中務太輔 真田伊豆守 戸田左門 牧野飛騨守
松平又七郎 松平左近將監 鳥居兵部少輔 稲垣信濃守
西尾隠岐守

廿三日

於御前御鷹之雁被下 美濃守大和守但馬守
増上寺 御名代美濃守
増上寺方丈依病氣 上使小笠原山城守

廿四日

如例年風烈之節は他所へ罷出申間敷旨殿中在合之諸番頭
老中申渡之
増上寺 御名代美濃守
増上寺方丈依病氣 上使小笠原山城守

廿五日

於御座間御鷹之雁式ツ 被下 酒井河内守松平美作守
阿部豊後守御鷹之鶴伴領之豊後守病氣ニ付同氏播磨守
於御前伴領之

廿六日

無事
増上寺方丈病氣為御尋吉田意安被遣之

廿七日

御鷹之雁式ツ 酒井修理大夫
同一ツ 阿部對馬守 阿部播磨守 松平伊豆守 板倉隠岐守
井上相模守 青山大膳亮 酒井日向守 太田摂津守
牧野因幡守 内藤和泉守 松平山城守 三浦志摩守
那須遠江守

廿八日

已下刻御黒書院江 出御如例御一門方 御對顔
馬二献之 鷹場掃 松平加賀守
右過御白書院江 出御如例諸大名 御目見

廿九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

三十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

三十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

晦日

御鷹之雁一ツ 能登守備中守伴領之
八代蜜柑 上使酒井老岐守 兩典
千代姫君本理院へ同断被遣之
増上寺撞鐘鑄候ニ付御褒美
須田次郎太郎
神谷長五郎
同断ニ付被下
釜屋常味
永井伊賀守へ

二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

十九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二十九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

三十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

三十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月十九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月二十九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

一月三十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十一日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十二日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十三日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十四日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十五日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十六日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十七日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十八日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月十九日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月二十日

御暇時ふく式ツ 古筆見 了栄 八兵衛
御鷹之雁一ツ 小笠原山城守 戸田伊賀守
本多長門守

二月二十一日

柳營日記記

延宝元 癸 年 十二月

朔日

午刻御黒書院 出御如例月御一門方 御對顔御白書院

出御諸大名 御目見

- 參勤 綿百把 本多越前守 金馬代 僧祿之御札 三東二卷 金地院 筑波 東卷 知足院 紀伊使者 御鷹之鶴被遣之御札 朝倉十左衛門 御鷹中 非常陸介殿 小笠原長左衛門 御鷹之雁被遣候御札

駿州淺間修復奉行相勤 付 島山下總可為 上使京都へ可遣旨

時ふく三ツツ 桑山主水 伊奈五兵衛

二日

寶樹院様 御名代美濃守 島山下總守

右は 法皇様御移徒 付為 上使被 遣候旨被 仰渡之

中奥 相詰候久津見又助野々山源之助儀向後中奥御番被 仰付候右昨日之事也

團基將基被 仰付上覽 井伊掃部頭松平玄蕃頭見物被 仰付

先三日勝 算習 先十二日勝 算哲 角落 宗桂 本因坊 道策 二番持 宗与

算習子春習初 以進物御札 御鷹 時ふく三羽折 小笠原長左工門 御眼 時ふく三 朝倉十左工門

三日

増上寺方丈 歷天 依病隱居願之通被 仰付旨小笠原山城守

戸田伊賀守相成申渡

四日

於評定所寄合美濃守出座

五日

御勘定役

- 清野半三郎 高谷二郎兵衛 神谷太郎兵衛 平井太郎左工門 三川口太郎兵衛 長谷部清介 秋田三郎右衛門 高田茂兵衛 完倉小平次

右は御勘定方支配被 仰付候

日門從京都御歸府 付以土屋但馬守二種一衛被遣之

六日

御鷹之鶴被下 松平加賀守

七日 無事

八日

島山下總守 京都へ御暇金十枚時ふく三羽折被下之

日門京都御歸府 付御對顔

御刀 内藤上野介 圓覺院

勅作干 一香合 日門坊官 大西宮内

御香炉 一 右御目見

綿繻珍 五卷 日門御臺様へ 御屏風 當時寄合書 百人一首色紙 一双 寄合書短冊百枚

御卓 水地彫物一脚 日門在京中上野

參勤伺 村上与兵衛 御目見 稲垣藏人 當春拝領之鷹 同人使者 神谷九左工門 太田式部

捉候鶴進上 水宰相使者 御眼銀十枚時ふく式 算哲

寒中御伺 布施十右工門 時ふく式 宗桂

雨鞍覆

石川八郎左工門 銀十枚 義安院 時ふく式 宗与 門哲 道策

御暇

銀十枚 宗看算習 鎌倉光明寺珂夫事増上寺後住被

御付候

九日

已后刻西丸 渡御御供土并能登守板倉筑後守松平因幡守等也

來十九日 法皇 新殿御移徒 付以島山下總守被遣之

法皇 御葉茶壺 玉簾

金式十枚 綿式百把

女院御所へ

御葉茶壺 時石

綿珠五卷 村上与兵衛

御暇時ふく三羽折 神谷九左衛門

同斷 水戸殿使者 布施十右衛門

十日

午刻角田川川辺 為御鷹野被為 成御供堀田備中守板倉筑後守松平因幡守土岐左衛門日根權十郎等也角田川之御殿

御膳被 召上之橋場御船 川口より御駕篋 被為

召之西刻 還御

御物数五十五内 御奉雁三

十一日

御旗本 小身之面々跡目被 仰付候面々左之通

- 今川吉太郎 大學生子 本多弥兵衛 半三郎子 坪内源五郎 五郎右衛門權孫 植村權之允 市十郎 平岡伊織 孫四郎子 川勝十郎右工門

御眼銀十枚時ふく式 算哲 伊賀守正藏 孫四郎子 川勝十郎右工門

右廿四人菊之間

- 青丹後守組 主水子 水野清吉郎 七
- 備前長門守組 左京子 阿部左助 八
- 四國 与五右衛門兼子 新庄伊織 九
- 戸田相模守組 又三郎兼子 伊達五郎三郎 十
- 備前守守組 平右衛門子 松波久四郎 十一
- 戸田備後守組 弥左衛門子 河内太左衛門 十二
- 備前高嶺 傳兵衛子 加藤孫左衛門 十三
- 坂倉市正組 藤右衛門兼子 向山七之助 十四
- 御室奉行 長右衛門子 大井市三郎 十五
- 田中大藏守組 太郎右衛門兼子 小林三次郎 十六
- 大保石京兼組 十左衛門子 三浦三十郎 十七
- 備前奉行 庄左衛門子 曲淵彦助 十八
- 備前長門守組 文 十五郎兼子 雨宮三郎四郎 十九
- 坂倉伊予守組 六郎右衛門兼子 松崎六之助 廿
- 戸田備後守組 九郎兵衛兼子 有田十右工門 廿一
- 御前戸 八左衛門子 中根八太夫 廿二
- 那羅 弥次右衛門子 細谷十右衛門 廿三
- 坂倉市正組 六右衛門子 中村庄之助 廿四
- 二系御室奉行 次右衛門兼子 海野藤助 廿五
- 小栗若石工門組 三郎左衛門兼子 蜂谷庄五郎 廿六
- 備前左衛門組 七兵衛兼子 野尻平兵衛 廿七
- 大藏役 四郎兵衛子 長滝勘兵衛 廿八
- 三國奉行 次郎右衛門子 荒井勘太夫 廿九
- 御後目付 新五兵衛子 朝倉半左衛門 三十
- 二九御門番 吉右衛門子 近藤次左衛門 三十一
- 大倉主馬門乃 七郎兵衛兼子 大瀬七郎兵衛 三十二
- 四國 太郎兵衛子 町野金太夫 三十六
- 美火之番 作兵衛子 西野牛之助 三十七
- 包十人 七右工門兼子 横山吉十郎 三十八
- 御殿工大工 三郎左衛門子 鈴木彦太郎 三十九
- 火之番 惣兵衛子 松崎辰之助 四十
- 五十九之番 十兵衛子 川村角左衛門 三十一
- 御室奉行 仁兵衛子 櫻井勘四郎 三十四
- 伊賀者 八郎左衛門兼子 永井源兵衛 四十
- 三郎左衛門子 喜多忠三郎 四十一

右三十九彦大夫迄躰躰之間

- 安右衛門子 川目弥五左衛門 四十三
- 伊賀者 久右衛門 (日記記久右衛門) 四十二
- 通物取次 磯崎久太夫 四十二
- 清太夫子 上野九兵衛 四十四

右之通被 仰付候

- 松平撰津守一昨日婚姻相済上付 上使酒井日向守
- 二種一荷 尾黄門
- 同断 千代姫御方
- 右へ御使奥より被遣
- 御小袖十 松平撰津守
- 二種一荷 松平撰津守
- (ちりめん三十卷 同人内室)
- (二種一荷)
- 昨日御拳之雁兩典へ被遣之 上使石川美作守
- 御暇時ふく式 曆師 立雪

十二日

- 於評定所式日寄合但馬守出座
- 高拾万石 土井大炊頭 兼子
- 右は願之通跡式無相違被下之 小出修理亮 惣領
- 高四万五千石 備前守 二男
- 外 新田千五百石 左近
- 右願之通隠居被 仰付家督備前守へ被下之左近江分
- 知被 仰付之 奥上ツツ
- 御鷹之雁被下 石川主殿頭 奥初番 板倉石見守 増山兵部少輔
- 本多越前守 諏訪因幡守 土岐山城守

十三日

- 御煤拂 酒井河内守役之初番也
- 十四日 無事
- 十五日 午刻御黒書院 出御如例御一門方 御對顔夫々御白書院 出御如例月諸大名 御目見
- 三東二巻 雜目 増上寺阿天 時ふく十 婚御御札 松平大膳大夫

十九日

- 新規御切米 御加増被下候面々左之通
- 千五百俵 新規 松平數馬 一
- 五百俵 同 源左衛門 二
- 式百俵御加増 本多伯耆守 大御番組頭 澤次郎左衛門 六
- 同断 處勢番十郎組 新御番与頭 中山茂兵衛 四
- 備前市三門組 曲淵市大夫 五

十六日

- 御暇時ふく式 紀伊殿使者 村松郷右工門
- 三羽折 吉田安房
- 已刻紅葉山 御宮 御參詣 御長檜御供土井能登守堀
- 田備中守板倉筑後守石川美濃守此外御近習之面々也
- 尾黄門水少將陪拜
- 豫參雅樂頭美濃守大和守但馬守
- 御先立 酒井河内守 日門奉迎
- 御刀 酒井老岐守 御客 能勢撰津守
- 御徒 佐野内藏允組与頭 磯田傳兵衛
- 同 大岡弥右衛門組与頭 富永八左衛門
- 右之通被 仰付候
- 東本 入院 德音院 六
- 遠州 二語坊 同断 酒井雅樂頭
- 進物 松平撰津守
- 集申御向 紀伊殿使者 村松郷右工門 箱者 松平謙岐守
- 御鷹之鶴 松平越前守使者 御鷹之鶴 箱者 參拜 稲葉丹後守
- 宿次を以被下御札 太田安房 駿府御目付婦 日下部權大夫
- 銀馬代 自分御札 同人 箱者 參上 大岡二郎兵衛
- 金具師 松村弥三郎 今日數珠組被仰付候
- 箱者 古郡文右工門
- 御代官 休 甫
- 再絵師 箱者

十七日

- 御暇時ふく式 松平越前守使者
- 御先立 酒井河内守 日門奉迎
- 御刀 酒井老岐守 御客 能勢撰津守
- 御徒 佐野内藏允組与頭 磯田傳兵衛
- 同 大岡弥右衛門組与頭 富永八左衛門
- 右之通被 仰付候
- 東本 入院 德音院 六
- 遠州 二語坊 同断 酒井雅樂頭
- 進物 松平撰津守
- 集申御向 紀伊殿使者 村松郷右工門 箱者 松平謙岐守
- 御鷹之鶴 松平越前守使者 御鷹之鶴 箱者 參拜 稲葉丹後守
- 宿次を以被下御札 太田安房 駿府御目付婦 日下部權大夫
- 銀馬代 自分御札 同人 箱者 參上 大岡二郎兵衛
- 金具師 松村弥三郎 今日數珠組被仰付候
- 箱者 古郡文右工門
- 御代官 休 甫
- 再絵師 箱者

十九日

- 新規御切米 御加増被下候面々左之通
- 千五百俵 新規 松平數馬 一
- 五百俵 同 源左衛門 二
- 式百俵御加増 本多伯耆守 大御番組頭 澤次郎左衛門 六
- 同断 處勢番十郎組 新御番与頭 中山茂兵衛 四
- 備前市三門組 曲淵市大夫 五

新御番 櫻井甚左衛門 六
 御納戸 清水三郎右衛門 八
 御納戸 都筑平三郎 三十七
 御納戸 伊丹理右衛門
 一人欠 本多伯耆守組
 御納戸 笠原又十郎 三十式
 新御番 小長谷三左衛門 廿
 新御番 天野傳四郎 十九
 御納戸 小西助十郎 三十三
 御納戸 植村土佐守組
 新御番 朝比奈十兵衛 十五
 御納戸 疋田一郎右衛門 廿九
 一人欠 上田長四郎
 新御番 三宅又十郎 十六
 御納戸 福嶋長左衛門 廿八
 御納戸 川勝市左衛門
 一人欠 松平健殿頭組
 新御番 若林十右工門 廿六
 御納戸 稻生五郎左工門 廿七
 御納戸 浦野權兵衛 四十五
 御納戸 石野伊兵衛 四十四
 御納戸 折井市郎兵衛 三十九
 新御番 市川甚兵衛 十八
 新御番 間宮治左衛門 十七
 御納戸 土屋兵部少輔組
 大御番 大橋十郎右衛門 三
 御納戸 服部十太夫 三十五
 新御番 松野市郎右衛門 五
 御納戸 水野彦四郎 三十八
 御納戸 布施藤兵衛 四
 御納戸 三枝摂津守組
 大御番 大久保四郎兵衛 十一
 御納戸 近藤源三郎 十式
 御納戸 鈴木源太郎 十三
 御納戸 柴田内記 三十四
 御納戸 服部忠四郎 三十六
 御納戸 戸田相模守組
 大御番 佐橋忠左衛門 一
 御納戸 新御番 内藤源三郎 三十

新御番 植田吉右工門 十四
 御納戸 德永十左工門 廿五
 御納戸 植村武助 四十式
 御納戸 太田与左衛門 二
 御納戸 齋藤友之助 三十一
 御納戸 板倉伊与守組
 新御番 加藤平兵衛 九
 御納戸 柴山主税 十
 御納戸 天野孫兵衛 四十
 御納戸 米倉左太夫 四十二
 御納戸 深尾四郎兵衛 四十三
 御納戸 小十人 御納戸 四人
 御納戸 小十人 新番 四人
 御腰物方 新御番 一人
 御納戸 新御番 一人
 御納戸 内廿人新御番 一人
 御納戸 右大御番 三十四人
 御納戸 右は三人新御番 御番入被 仰付
 御納戸 小十人
 御納戸 松波善左衛門 廿四
 御納戸 德永十左衛門 廿五
 御納戸 大久保甚之九組
 御納戸 若林十右衛門 廿六
 御納戸 山岡甚五兵衛組
 御納戸 稻生五左衛門 廿七
 御納戸 植村武助 四十二
 御納戸 秋山源左衛門組
 御納戸 深尾四郎兵衛 四十三
 御納戸 石野伊兵衛 四十四
 御納戸 宅間伊織組
 御納戸 浦野權兵衛 四十五
 御納戸 右は元方拂御納戸 御番入被 仰付候
 御納戸 新御番 高井三郎兵衛 廿式
 御納戸 三宅新五右衛門 廿一
 御腰物方 石野十郎右衛門 廿三

歳暮之具服献上有之
 今日松平万助元服御一字拝領之 綱周
 献上御太刀 義光 御刀 左安吉
 綿百把 代金三枚五兩
 銀式千両 献上
 金馬代 松平出羽守
 金二十枚 小袖十
 時ふく二十 家督御礼 土井帯刀
 綿百把 小出備前守
 半年代 箱着 土屋民部少輔 西郷若狭守 森川出羽守 堀飛騨守
 土屋相模守
 同 奥 芹野左近 太田半六郎 福原内匠
 廿二日
 式日出座美濃守
 鈴木市兵衛事只今迄大久保右京亮組小普請之処大御
 番戸田相模守組へ御番入被 仰付之
 一松平下野守於越後高田病氣付平賀源張可差遣旨付
 為御暇金一枚時ふく式被下之
 廿三日
 阿部播磨守加判之列へ被 仰付候右付尾張殿へ上
 使但馬守兩典へ美濃守を以被 仰遣候紀伊殿因元へ
 奉書達之
 廿四日
 巳刻紅葉山 御参詣 御先 掃部頭老中不殘相越
 御供土井能登守堀田備中守板倉筑後守松平因幡守此外御
 近習之面々
 尾黄門水少將陪梓
 御刀 土岐伊与守 御香 三枝對馬守 御先立 掃部頭
 豫參 雅樂頭美濃守大和守但馬守
 廿五日
 相馬長門守
 嫡子 虎千代
 右は跡式無相違被下之

大御番同組組頭
小野左兵衛跡
右之通被 仰付候

式千俵御加増
千俵御加増

右之通御加増被下之
如例年御褒美被下之

小袖

同貳

同三

戸田相模守組
間宮次郎兵衛
土屋兵部少輔
荒川出羽守

柳生飛騨守

同大膳

久保吉右衛門

森新兵衛

小嶋久左衛門

神尾小左衛門

秋浦半左衛門

馬場三郎左衛門

中坊長兵衛

坪内奎之助

伊奈彦右衛門

鶴殿甚左衛門

西尾左太夫

横山甚左衛門

野々山弥兵衛

山木安兵衛

浅井平右衛門

花井治左衛門

須田次郎太郎

神谷長五郎

小菅猪右衛門

諏訪部彦兵衛

西川清左衛門

馬場三郎左エ門

中坊長兵衛

本所奉行

奥小袖

奥小袖

奥小袖

奥小袖

奥小袖

奥小袖

御暇 時ふく三
銀三十枚
小八郎
五郎右エ門
三右エ門
時ふく貳ツ

御脇指来国光 代金三十枚
御臺様へ銀廿枚
相馬虎千代

日門明日御登山 付吉良上野介 以八代蜜柑一箱被遣之

相馬虎千代 虎千代家来

銀馬代 相馬虎千代 銀馬代

箱肴ツ 松平和泉守 安藤對馬守 阿部伊与守 松平備前守

初 内儀助美子 又四郎子 藤兵衛美子 清左エ門子 金右エ門子

安藤作太郎 石川又八郎 西尾宇右エ門 三嶋喜右衛門 本多虎之助

久太夫子 三右エ門子 六左衛門美子 孫八郎美子 九左エ門子

喜多見松之助 浅羽主税 秋山平十郎 木村巳之助 平野清左エ門

道有子 兵部美子 忠恵子 慶南子 良庵子

平田伯寿 津輕意之 秋本忠音 佐藤慶庵 江藤良元

坂春也 田村長伯 但浅羽迄太刀目録以下、鳥目

一東一卷 吉田宗連 東巻 岡寿益 甫庵子

御暇 時ふく三
銀三十枚
小八郎
五郎右エ門
三右エ門
時ふく貳ツ

御脇指来国光 代金三十枚
御臺様へ銀廿枚
相馬虎千代

日門明日御登山 付吉良上野介 以八代蜜柑一箱被遣之

相馬虎千代 虎千代家来

銀馬代 相馬虎千代 銀馬代

箱肴ツ 松平和泉守 安藤對馬守 阿部伊与守 松平備前守

初 内儀助美子 又四郎子 藤兵衛美子 清左エ門子 金右エ門子

安藤作太郎 石川又八郎 西尾宇右エ門 三嶋喜右衛門 本多虎之助

久太夫子 三右エ門子 六左衛門美子 孫八郎美子 九左エ門子

喜多見松之助 浅羽主税 秋山平十郎 木村巳之助 平野清左エ門

道有子 兵部美子 忠恵子 慶南子 良庵子

平田伯寿 津輕意之 秋本忠音 佐藤慶庵 江藤良元

坂春也 田村長伯 但浅羽迄太刀目録以下、鳥目

一東一卷 吉田宗連 東巻 岡寿益 甫庵子

御暇 時ふく三
銀三十枚
小八郎
五郎右エ門
三右エ門
時ふく貳ツ

御脇指来国光 代金三十枚
御臺様へ銀廿枚
相馬虎千代

日門明日御登山 付吉良上野介 以八代蜜柑一箱被遣之

相馬虎千代 虎千代家来

銀馬代 相馬虎千代 銀馬代

山田奉行 桑山丹後守
御作奉行 青水遠江守 土井新右エ門
御勘定奉行 秋浦内藏允 徳山五兵衛 甲斐庄喜右エ門
長崎奉行 同野孫九郎 牛込忠左エ門、在長崎
御普請奉行 本郷庄三郎阿路四郎五郎大久保甚右衛門 京町

右は御座之間 被為 召 御前 被下之

鎌倉光明寺 大光院 万無

新田大光院 大善寺 専應

瀧山大善寺 増上寺一藏 壺玄

甲府殿へ金四方両拝借被 仰付候

夜入舞被 仰付 初被 仰付候 付八郎九郎へ小袖三

左右エ門権八郎へ小袖二ツ被下之

御對顔夫々御白

御目見

御對顔夫々御白

小普請奉行 式人
仙石因幡守 伏見
彦坂老岐守 大坂
水野伊与守 堺
能勢日向守 京町
岡部孫九郎 山田
桑山丹後守 長崎

松平大隅守

酒井修理大夫

阿部播磨守

相馬帛千代

松平又七郎

黒田千之助

小出大學

大和守

久世勝之助

池田主税

豊前守

内藤市之助

備前守

松平一學

刑部少輔

毛利喜太郎

伊与守

元知

長門守子

滝川式部若狭守

竹田治部卿

法印
法眼

半井卜養

井関玄悦

右之通被 仰付候

火酒

水野十兵衛忠顯

火酒役

八木十三郎高豊

歩行頭

新見七右衛門信義

小十人頭

嶋田権三郎利友

小十人頭

三嶋清左衛門政成

石谷市右衛門

西城留守居番

大久保右衛門八忠重

右之通被 仰付候

老中奥若年寄御副衆如例年時ふく拝領之

土井能登守堀田備中守并御近習衆如例年與服被

下之

（銀廿枚）時ふく式 意安

御祓 山王神主

（銀十枚）時ふく式 忠恵

東本 昌陸

右本理院様御病中相詰御本復二付被下之

廿九日

奥連歌昌陸法眼被仰付

近所火事之節無遠慮出合火消可申候旨昨日出仕

合之面々江被 仰渡候

尾張殿家司竹腰備後信濃守從五位下被 仰付候成瀬集人正

へ傳之

三十日

奥節分之役河内守初御勤之